

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人こらぼねっと京都 こらぼねっと京都自立支援センター(保育所等訪問)		
○保護者評価実施期間	2025年12月11日		～ 2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年12月11日		～ 2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月11日		～ 2026年1月16日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の発達や特性、関わり方について、具体的に説明できる。	児童の実際の行動と照らし合わせて説明している。	園の協力を得て、映像の記録を撮っていただける場合は、それを見て共有しながら説明・解説をするように心がけている。
2	個別での取り組みに加え、対象になる児童が所属するクラスや学年などのグループ全体での活動を提供し、客観的に児童を観察する機会を提供している。	対象になる児童が所属するクラスの子も含めて、それぞれの児童の発達の状態や特性がわかるような関わり方について、担当職員に説明し、共有している。	対象になる児童の担当職員との振り返りの時間を作り、児童の行動について情報共有しながら、発達と特性を踏まえて丁寧に解説する。
3	園・学校の生活ベースや行事事に配慮し、訪問日を調整している。	保護者の都合や対象児の体調で欠席した場合、連絡を取り合っている。	保護者の都合や対象児の体調で欠席した場合、可能な限り、別日を設けている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問に行ける職員が少ない。	保育所等訪問支援員になるために職員にスキルアップを図る必要がある。	保育所等訪問支援員の育成。
2	対象児が欠席した場合、訪問支援員が他の業務と重なる等保育所等訪問に行ける時間を確保しづらい。	保育所等訪問に行ける職員が少ない。	保育所等訪問に行ける時間の確保するため、他の業務と重ならないよう、時間や人員の工夫。
3			